

2022年度(令和4年度)
大学院工学研究科
(博士後期課程)
名古屋工業大学・ウーロンゴン大学
国際連携情報学専攻10月入学

学 生 募 集 要 項

新型コロナウイルス感染症の拡大状況に伴い、入試日程
及び入学者選抜方法について変更することがあります。

国立大学法人
名古屋工業大学

2022 年度（令和 4 年度）名古屋工業大学大学院工学研究科（博士後期課程）
名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻 10 月入学
学生募集要項

目 次

教育理念

国際連携専攻について	1
重要なお知らせ	1
アドミッション・ポリシー	2
1 募集専攻及び募集人員	3
2 出願資格	3
3 出願期間	4
4 出願手続	4
5 受験票の交付	8
6 障害等のある入学志願者との事前相談	8
7 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請	8
8 入学者選抜方法	8
9 試験場	9
10 合格者発表及び入学手続	9
11 入学手続時に必要な経費	9
12 入試情報	9
13 指導教員等一覧	11
14 入学の時期	12
15 課程の修了の認定及び学位の授与	12
16 修学支援制度	12
17 安全保障輸出管理について	12
18 問い合わせ先	13
出願資格(6)による出願について	14
出願資格(7)による出願について	14
出願資格(8)による出願について	15
ディプロマ・ポリシー	16
カリキュラム・ポリシー	16

教育理念

名古屋工業大学では、『ものづくり』『ひとづくり』『未来づくり』を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成する。」ことを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

国際連携専攻について

- 1 海外の大学と共同して教育課程を構成する大学院（国際連携専攻）とは
国内外の複数の大学が連携して教育研究資源を最大限に活用し、一つの大学では提供できない、より高度で革新的な、あるいはより魅力的なプログラムを行うことにより、学生に質や付加価値の高い学習機会を提供し、大学、国、企業・地域が意欲ある優秀な人材を得られるようにすることを目指すものです。そのため複数の大学共同で教育課程を実施し、連名で学位を授与するものです。
- 2 本共同大学院の主な特徴
 - (1) 名古屋工業大学（Nagoya Institute of Technology）とウーロンゴン大学（University of Wollongong, オーストラリア）の連名による学位が授与されます。
なお、学位の名称は、博士（学術）となります。
 - (2) 名古屋工業大学とウーロンゴン大学の両大学に在籍することになりますが、両大学から研究指導を担当する教員が配置され、幅広い観点で研究を行うこととなります。
 - (3) 本学で1年間の研究指導を受け、次いでオーストラリアで1年間の研究指導、帰国後、最終的に本学で学位申請し、両大学で組織する学位審査委員会で合格すれば、両大学の連名による学位が授与されます。
 - (4) 遠隔授業システムを活用して実施する共同創造セミナーにより、一人ひとりの学生に応じた研究指導を3年間行います。

重要なお知らせ

- 1 志願者は、名古屋工業大学、ウーロンゴン大学のいずれかに出願しますが、名古屋工業大学へ出願した志願者は、名古屋工業大学において入学試験を受験することとなります。この場合、入学手続、授業料等の納付、奨学金の申請等に関して、名古屋工業大学で取り扱います。
- 2 本国際連携情報学専攻において、名古屋工業大学とウーロンゴン大学を併願することはできません。

- 3 英語能力については、IELTS の各分野で 6.0、全体として IELTS アカデミックモジュール 6.5 以上を有すること、あるいはそれと同等の英語能力を有することが望ましい。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学院博士後期課程

教育理念に従って人材を育成するため次を満たす学生を広く国内外から受け入れています。

大学院博士後期課程で学ぶ学生は修士の能力と工学の専門知識、技術革新への使命感をもち、本専攻の理念をよく理解し、情報技術の使命を果たす意欲をもつ人です。

- 1 修士課程を修了するか、あるいはこれと同等の能力をもつ人
- 2 志望する専門分野についての高度な専門知識とこれを活用して問題解決をする能力、新規で有用な研究を遂行する能力をもつ人
- 3 英語等によって学術論文を読解・叙述し、他者との専門的議論をすることのできるコミュニケーション力をもつ人
- 4 高度な情報技術を基に、国際的な舞台において新たな社会の創造を先導することに強い意欲をもつ人

入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は、口述試験、面接及び提出書類により総合して選抜します。

口述試験では、修士論文についてプレゼンテーションを行い、志望する専門分野についての高度な専門知識や英語能力を測るとともに、面接では研究意欲、適性、人物を問います。

国際連携情報学専攻では、「IELTS」又は「TOEFL」の成績により、国際的な舞台で活躍するための基盤的なコミュニケーション力を問います。

2022 年度（令和 4 年度）名古屋工業大学大学院工学研究科（博士後期課程）

名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻 10 月入学 学生募集要項

名古屋工業大学大学院工学研究科（博士後期課程）名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻の学生のうち、名古屋工業大学で教育・研究を開始するものを次のとおり募集します。

1 募集専攻及び募集人員

募 集 専 攻	募 集 人 員	
	名古屋工業大学	ウーロンゴン大学
名古屋工業大学・ウーロンゴン大学 国際連携情報学専攻	若干名	若干名

注：この募集とは別に定める以下の募集要項のうち、同一時期に募集する専攻との併願はできません。

2023 年度（令和 5 年度）名古屋工業大学大学院工学研究科（博士後期課程）学生募集要項（第 1 次募集・第 2 次募集）

2023 年度（令和 5 年度）名古屋工業大学大学院工学研究科・名古屋市立大学大学院薬学研究科 共同ナノメディシン科学専攻（博士後期課程）学生募集要項（第 1 次募集・第 2 次募集）

2022 年度（令和 4 年度）名古屋工業大学大学院工学研究科・名古屋市立大学大学院薬学研究科 共同ナノメディシン科学専攻 10 月入学（博士後期課程）学生募集要項

2 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び 2022 年 9 月 30 日までに修士の学位又は専門職学位を取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を 2022 年 9 月 30 日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を 2022 年 9 月 30 日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を 2022 年 9 月 30 日までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び修士

の学位に相当する学位を 2022 年 9 月 30 日までに取得見込みの者

- (6) 外国の学校、第四号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2022 年 9 月 30 日までに 24 歳に達するもの

注 1：出願資格 (6) により出願する者は、14 ページの「出願資格 (6) による出願について」を参照してください。

注 2：出願資格 (7) により出願する者は、14 ページの「出願資格 (7) による出願について」を参照してください。

注 3：出願資格 (8) により出願する者は、15 ページの「出願資格 (8) による出願について」を参照してください。

3 出 願 期 間

2022 年 7 月 12 日(火)～7 月 15 日(金)【15 日(金)16:00 必着】

持参の場合の受付時間は 9:00 から 16:00

郵送の場合は 7 月 15 日(金)16:00 必着

注 1：出願に当たっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。

4 出 願 手 続

(1) 出願書類

次の書類を取りそろえ、所定の期日までに本学入試課に提出してください。

郵送出願する場合は、市販の封筒（角形 2 号、縦 33cm×横 24cm）を用い、**書留速達**で郵送してください。

なお、海外から出願する場合は、入試課へ問い合わせてください。

必要書類	①入学願書	本学HP (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロードして作成してください。
	②志望理由書	「専攻の志望理由」及び「大学院入学後、研究したいテーマ・内容」を英語で記入してください。志望理由書は、本学HP (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロードして作成してください。
	③成績証明書 (大学院) (コピー不可)	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程の成績証明書を提出してください。 日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。 注) 中国の教育機関出身者は下記の注意事項を参照してください。
	④成績証明書 (学部) (コピー不可)	出身大学が作成した成績証明書を提出してください。 日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。 注) 中国の教育機関出身者は下記の注意事項を参照してください。
	⑤学位取得(見込)証明書 (修了(見込)証明書) (コピー不可)	出身大学院が作成したものを提出してください。 日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。 注) 中国の教育機関出身者は下記の注意事項を参照してください。
	⑥英語外部試験のスコア	4(2)①を参照してください。
	⑦IELTSスコア公式成績証明書返却用封筒	郵送出願する者で、IELTS公式成績証明書を提出するもののみ必要。 市販の封筒(長形3号, 23.5cm×12cm)に、郵便番号、受信場所、氏名を記入し、郵便切手(374円)を貼付してください。 ただし、受信者が外国に居住する場合は、国際スピード郵便(EMS)で送付するため、航空便書状100g相当の国際返信切手券を同封してください。
	⑧修士論文の写し	修士を持っている者は、修士論文の写しを提出してください。
	⑨研究経過の概要	これまでの研究経過の概要(英語で1,000語程度)を提出してください。研究経過の概要の様式は、本学HP (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロードして作成してください。

必要書類	⑩検定料	30,000 円 検定料の支払い方法については、名古屋工業大学入試課までお問い合わせください。(14 ページ「18 お問い合わせ先」参照)
	⑪著書, 学術論文, 学術報告, 特許, 実用新案等の写し	出願資格(7)又は(8)に該当する者で左記のものがあれば提出してください。
	⑫住民票の写し又は在留カードの両面コピー	外国人は、 <u>在留資格及び在留期間</u> が記載された住民票の写し又は在留カードの両面コピーを提出してください。在留資格を有しない者は、パスポートの写しを提出してください。

注：入学資格審査のために提出した書類については、出願時に再提出する必要はありません。

<中国の教育機関出身者の証明書について>

③成績証明書（大学院）、④成績証明書（学部）及び⑤学位取得証明書（修了証明書）

「中国高等教育学生信息网（CHSI）」([https:// www.chsi.com.cn/](https://www.chsi.com.cn/)) が発行する成績認証報告書（英語版）及び学歴認証報告書（英語版）を、募集要項に記された出願期間までに CHSI から名古屋工業大学入試課（nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp）に直接送信されるように手続きしてください。

「中国教育部学位与研究生教育发展中心（CDGDC）」(<https://www.cdgdc.edu.cn.jp/>) が発行する学位（修士）の認証書（英語版）を、募集要項に記された出願期間までに CDGDC から名古屋工業大学入試課（nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp）に直接送信されるように手続きしてください。上記③、④及び⑤において、この手続き以外の認証報告書は受理しません。

また、出願時に当該教育機関を卒業していない場合は、③成績証明書（大学院）についてはその時点での成績証明書を、⑤学位取得証明書（修了証明書）については修了見込であることが分かる大学発行の証明書を提出してください。

なお、出願期間内に到着しなかった場合は、受験できませんので、余裕をもって申請してください。

(2) 注意事項

① 英語外部試験のスコアについて、以下の英語外部試験より 1 つ選び、必要な書類を提出してください。

英語外部試験名	望まれるスコア（目安）	提出が必要な書類
①IELTS	IELTS の各分野で 6.0, 全体として IELTS アカデミックモジュール 6.5 以上	IELTS 公式成績証明書 (Test Report Form) の原本, 顔写真の載っているもの (コピーは不可)。
②TOEFL-iBT (Internet-based Test)	Test Date スコアにおいて, Reading と Writing の各セクションで 18 以上, Listening と Speaking の各セクショ	公式スコア (Official Score Report 又は Institutional Score Report)

	ンで 17 以上を満たし、かつ Total Score で 86 以上 (本学では、MyBest scores は活用しません。)	
--	--	--

注 1 : スコアシート (成績証明書) の有効期限は、当該試験出願期間前 2 年間以内とします。

注 2 : TOEFL-iBT については、受験生用スコア (Examinee Score Report 及び Test Taker Score Report) は認められません。また、TOEFL-ITP 等の団体特別受験制度によるスコアは利用できません。

ETS (Educational Testing Service) に対し、公式スコア (Official Score Report 又は Institutional Score Report) を出願締切日までに本学に到着するような次のいずれかの方法で手続きをしてください。

- ・ TOEFL 試験申込時又は試験前日 22 時までに ETS に直接申請する方法 (無料)
- ・ TOEFL 試験日以降に ETS に直接申請する方法 (有料)

なお、本学の指定校コードは「8549」です。

公式スコアは本学到着までに 2 か月程度の期間を要する場合がありますので、余裕をもって申請してください。出願期間内に未着の場合は書類不備となります。

「TOEFL Official Score Report」が、名古屋工業大学に届いているか確認したい場合は、以下のとおり E メール (nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp) にて問い合わせをしてください。

件名 「TOEFL スコアについて」

本文 ・ 氏名 (アルファベット)

- ・ TOEFL 受験日
- ・ TOEFL 受験番号
- ・ 生年月日

注 3 : 提出された IELTS 公式成績証明書は、出願書類受理後に返却します。

- ② 各証明書については、英語以外で書かれたものは、英語の訳文を添付してください。
- ③ 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ④ 出願後、出願事項の変更は認めません。ただし、住所・電話番号等の変更が生じた場合は、14 ページ「18 問い合わせ先」まで連絡してください。
- ⑤ 提出された出願書類は、返還しません。
- ⑥ 既納の検定料は、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ア 支払ったが、出願書類を郵送しなかった場合
 - イ 支払ったが、出願書類の不備により出願が受理されなかった場合
 - ウ 誤って二重に支払った場合
- ⑦ 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

⑧ 本学入学者選抜に用いた個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、次のとおり取り扱います。

ア 入学者選抜に用いた個人情報については、今後の入学者選抜に係る調査・研究のために利用します。なお同調査・研究のため守秘義務を課した業者にその業務の一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。

イ 合格者の氏名・住所等の個人情報は、教科書販売、賃貸住宅に関する事前案内送付等のために利用します。なお、この業務については守秘義務を課した業者に委託することがあります。この場合、当該業者に対して業務実施の上で必要となる範囲内で個人情報を提供します。

ウ 入学者の個人情報は学籍等の教務関係、修学指導関係及び学生支援関係の業務に利用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。

5 受験票の交付

持参出願の場合は受理後その場で交付し、郵送出願の場合は受理後に出願者へ送付します。

6 障害等のある入学志願者との事前相談

本学大学院に入学を志願する者で、学校教育法施行令第22条の3に定める障害のあるもの又はその他の障害があるもののうち、受験上及び修学上の配慮を必要とするものは、2022年6月17日(金)までに、本学入試課へ申し出てください。

7 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請

受験時に来日する際、国によっては査証（ビザ）が必要になりますので、詳しくは、自国の日本大使館・領事館に確認してください。

本学を受験するために「短期滞在ビザ」を申請する場合、自己の責任で必要な条件を揃えて手続きを行ってください（本学が「招へい人」、「身元保証人」になることはできません）。

8 入学者選抜方法

入学者の選抜は、口述試験、面接、修士論文等の審査、成績証明書及び英語外部試験のスコアを総合して判定します。

(1) 入学者選抜

個別に、次の事項について審査します。

① 口述試験

提出された修士論文等（5 ページ、4 (1)の⑧、⑨又は⑩）について、英語でプレゼンテーションを行い、研究内容及び専門知識について質問します。

詳細については、出願書類を受理後にお知らせします。

② 面接

研究意欲，人物等

(2) 選考時期

2022年8月24日(水)

9 試験場

名古屋工業大学

詳細については，出願書類を受理後にお知らせします。

10 合格者発表及び入学手続

(1) 2022年9月9日(金) 10:00に，本学のホームページ (<https://www.nitech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載するとともに，合格者に合格通知書を送付します。

なお，電話による問い合わせには一切応じません。

また，受験票は入学手続時に必要なため，それまで必ず保管してください。

(2) 入学手続日 2022年9月16日(金)

11 入学手続時に必要な経費

入学料	282,000円(予定額)
授業料	年額 535,800円 (予定額) { 前期分 267,900円 後期分 267,900円

注1：2022年9月に本学博士前期課程を修了した者の入学料は不要です。

2：入学料及び授業料については，入学時及び在学中に改定が行われた場合には，新入学料及び新授業料が適用されます。

3：授業料(後期分)を入学手続時に納入しない場合は，2022年10月3日(月)から10月31日(月)までに納入してください。

4：既納の入学料及び授業料は，返還しません。ただし，授業料については，入学手続完了者が2022年9月30日(金)までに入学を辞退した場合には，納入した者の申出により当該授業料相当額は，後日返還します。

5：入学料及び授業料については，徴収猶予又は免除する制度があります。

12 入試情報

2022年度(令和4年度)大学院博士後期課程に係る入試情報は，次の内容を開示します。

(1) 出願状況等

志願者数，受験者数，合格者数，入学者数を本学ホームページ及び入試課窓口で提供します。

(2) 試験成績

① 受験者本人の申請に基づき，次の事項を開示します。

総合評定 (A, B, C)

ただし、入学者選抜において、欠席により選抜の対象外となった場合は、開示されません。

② 申請方法等

ア 申請期間

2022年9月12日(月)～9月22日(木)

イ 申請方法

入試課窓口又は郵便で、「試験成績請求願」(本学指定の用紙)に、受験票及び成績送付用封筒(市販の角形2号封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、280円分の切手を貼付したもの)を添えて申請してください。

なお、郵便で申請する場合は、事前に入試課まで連絡してください。

③ 開示方法及び時期

2022年10月上旬に申請者本人に郵送します。

13 希望指導教員等一覧

希望する教員を決めるにあたっては、以下の表を参照し、名古屋工業大学、ウーロンゴン大学、それぞれより1名ずつ記入してください。なお、ウーロンゴン大学の教員に関しては、名古屋工業大学側の教員と相談の上、決定し、記入してください。

名古屋工業大学

職名	氏名	現在の主要研究テーマ
教授	犬塚 信博 (INUZUKA, Nobuhiro)	1 機械学習とデータマイニング 2 社会ネットワーク分析 3 知能技術を応用したシステム分析
教授	加藤 昇平 (KATO, Shohei)	1 統計的機械学習・メタヒューリスティクス 2 知能・感性ロボティクス 3 知能化・最適化技術の産業・医療応用
教授	白松 俊 (SHIRAMATSU, Shun)	1 ナレッジグラフを用いた市民協働の支援技術 2 自然言語処理による議論分析と議論支援 3 身体動作による即興合奏支援システム
教授	和田山 正 (WADAYAMA, Tadashi)	1 符号理論に関する研究 2 無線通信信号処理に関する研究 3 情報理論に関する研究
准教授	打矢 隆弘 (UCHIYA, Takahiro)	1 サイバー社会を支える新しいソフトウェアの基盤の開発 2 広域分散環境を基盤とした応用知能ソフトウェアシステムの開発 3 エージェントシステムの設計方法論・開発/運用環境の構築
准教授	大塚 孝信 (OTSUKA Takanobu)	1 ワイヤレスセンサネットワーク 2 統計的機械学習 3 マルチエージェントシステム
准教授	松井 俊浩 (MATSUI, Toshihiro)	1 マルチエージェントシステム 2 分散最適化 3 協調問題解決
准教授	森山 甲一 (MORIYAMA, Koichi)	1 強化学習 2 マルチエージェントシステム 3 ゲーム理論

職名	氏名	現在の主要研究テーマ
Professor	SUSILO, Willy	1 情報セキュリティ 2 暗号化
Professor	WANG, Lei	1 画像処理 2 機械学習
Associate Professor	YAN, Jun	1 サービスコンピューティング 2 知的ワークフローモデリング
Associate Professor	HAGENBUCHNER, Markus	1 データマイニング 2 機械学習
Senior Lecturer	WARD, Koren	1 知能ロボット 2 人工知能
Lecturer	REN, Fenghui	1 マルチエージェントシステム 2 人工知能

14 入学の時期

2022年10月

15 課程の修了の認定及び学位の授与

原則として本課程に3年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、名古屋工業大学とウーロンゴン大学の連名による下記の学位が授与されます。

なお、本専攻では、連携先大学に1年間留学することが必須の要件となります。

学位の名称	専攻分野の名称
博士	学術

16 修学支援制度

本学では経済的理由により修学が困難な学生に対し、学資の支援を行い学業に専念できるよう奨学金制度等を用意しています。詳細は以下のURLより確認してください。

<https://www.nitech.ac.jp/campus/support/index.html>

17 安全保障輸出管理について

名古屋工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」

名古屋工業大学規則集 <https://kisoku.web.nitech.ac.jp/index.php> より

第4編 研究系>国立大学法人名古屋工業大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

18 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は、Eメール又は電話等で行ってください。

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
ごきそちょう
名古屋工業大学 入試課
電話 (052) 735 - 5083
FAX (052) 735 - 5084
Eメール nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp

出願資格(6)による出願について

- 1 出願資格(6)に定める「大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」は「博士論文研究基礎力審査」に相当する審査に合格した者です。
「博士論文研究基礎力審査」とは次の(1)及び(2)の試験及び審査をいいます。
 - (1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養についての試験
 - (2) 博士論文にかかる研究を主体的に遂行するために必要な能力についての審査
- 2 出願資格(6)により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行います。
- 3 前記 2 の審査を受ける者は、4 ページの「4 (1)出願書類」に示す③、⑨に加え、次に示す書類を 2022 年 5 月 16 日(月)16:00 までに入試課に提出してください。
 - (1) 入学資格審査申請書（必ず英語で記入すること）
 - (2) 志望理由書（必ず英語で記入すること）
 - (3) 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格したことの証明
 - (4) 当該審査の合格の基準
 - (5) 当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料
 - (6) 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。
上記(2)の志望理由書の様式は、本学HP
(<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。
- 4 審査の結果は、2022 年 6 月 27 日(月)までに本人に通知します。
- 5 出願資格を認められた者には、審査結果通知の際に出願手続の詳細を連絡します。
- 6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

出願資格(7)による出願について

- 1 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」は、次の①及び③又は、②及び③の要件を満たす者です。
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者
 - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学研究所等において、2 年以上研究に従事した者
 - ③ 著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許、実用新案等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者
- 2 出願資格(7)により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行います。
- 3 前記 2 の審査を受ける者は、4 ページの「4 (1)出願書類」に示す⑨、⑩に加え、次に示す書類を 2022 年 5 月 16 日(月)16:00 までに入試課に提出してください。
 - (1) 入学資格審査申請書（必ず英語で記入すること）
 - (2) 志望理由書（必ず英語で記入すること）
 - (3) 学部の成績証明書
 - (4) 学部の卒業証明書注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。
上記(2)の志望理由書の様式は、本学HP
(<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。
- 4 審査の結果は、2022 年 6 月 27 日(月)までに本人に通知します。
- 5 出願資格を認められた者には、審査結果通知の際に出願手続の詳細を連絡します。
- 6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

出願資格(8)による出願について

- 1 出願資格(8)に示す「本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年9月30日までに24歳に達するもの」の範囲は、①又は②の要件を満たす者です。
 - ① 大学を卒業した後、科学・技術関係分野で2年以上の業務経験を有し、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者
 - ② 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者及びその他教育施設の修了者等で、個別の学習歴や実務経験・国際的活動経験等の実務を有する者
- 2 出願資格(8)により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行います。
- 3 前記により審査を受ける者は、4ページの「4(1)出願書類」に示す⑨、⑩に加え、次に示す書類を2022年5月16日(月)16:00までに入試課に提出してください。

上記1-①により審査を受ける者

- (1) 入学資格審査申請書（必ず英語で記入すること）
- (2) 志望理由書（必ず英語で記入すること）
- (3) 学部の成績証明書
- (4) 学部の卒業証明書

注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。

上記(2)の志望理由書の様式は、本学HP

(<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。

上記1-②により審査を受ける者

- (1) 入学資格審査申請書（必ず英語で記入すること）
- (2) 志望理由書（必ず英語で記入すること）
- (3) 最終学校等の成績証明書
- (4) 最終学歴の卒業証明書又は修了証明書
- (5) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料（英文）

注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。

上記(2)の志望理由書の様式は、本学HP

(<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。

- 4 審査の結果は、2022年6月27日(月)までに本人へ通知します。
- 5 出願資格を認められた者には、審査結果通知の際に出願手続の詳細を連絡します。
- 6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

大学院博士後期課程

本専攻を修了する学生は次の能力を修得する必要があります。

- 1 国際社会の課題を技術的側面から理解し、産業社会の将来像を展望できる能力
- 2 情報学分野での深い専門知識と超スマート社会実現に向けた技術に関する幅広い関心・洞察力
- 3 高い独創性と強い研究推進能力によってイノベーションを牽引する能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

大学院博士後期課程

本専攻は技術革新への使命感、倫理観等の基本的態度及び情報学分野の専門知識と研究遂行能力を前提とし、その上で超スマート社会に資する研究に取り組み、未来社会をつくり出す人材を育成します。そのため、次の3項目を基本ポリシー（カリキュラム・ポリシー）とします。

- 1 国際社会の課題を技術的側面から理解し、産業社会の将来像を展望できる能力を身につけること。
- 2 情報学分野での深い専門知識と超スマート社会実現に向けた技術に関する幅広い関心・洞察力を身につけさせること。
- 3 高い独創性と強い研究推進能力によってイノベーションを牽引する能力を身につけさせること。

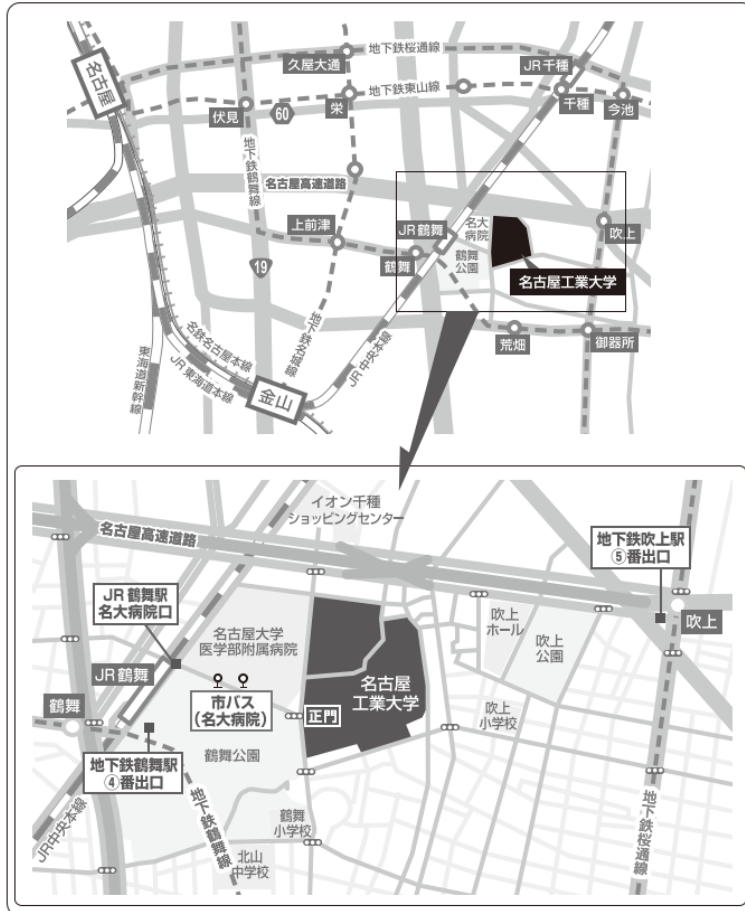
なお、学修成果の評価は、各授業科目等における達成目標の達成度に基づき、公正・厳格な成績評価を行い、ディプロマ・ポリシーに示す知識と能力の達成度を評価します。博士論文の研究成果に対しては、審査基準及び審査方法を明示し、それに基づき研究成果の審査及び試験を行い評価します。

本学への交通案内

J R 東海	中央本線	鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
地下鉄	鶴舞線(上小田井 ←→ 赤池)	鶴舞駅下車(4番出口から東へ約500m)
	桜通線(中村区役所 ←→ 徳重)	吹上駅下車(5番出口から西へ約900m)
市バス	栄18 (栄 ←→ 妙見町)	名大病院下車(東へ約200m)

注1：(栄18)は、市バスの系統番号

2：バスの運行時間は、交通渋滞により大幅に遅れる可能性があるので注意してください。



名古屋工業大学入試課

ごきそちょう
 名古屋市昭和区御器所町(〒466-8555)
 電話 052(735)5083
 ホームページアドレス <https://www.nitech.ac.jp/>